

「価値ある者の人生」 ～あなたの人生はベスト？～

イザ43：4、ヘブル12：1～3

あなたに質問します。「あなたは幸せですか？」もしそうなら「幸せって何ですか？」・・・

この質問にあなたは答えられますか？ある人は幸せとは何かを聞かれて答えられる人は稀であると言いました。確かに私たちは幸せという言葉を使いますが、あなたにとってどういう意味かと聞かれるとうまく答えられない人が多いのではないのでしょうか。しかし、私たちは聖書全体を通してその答えを見出すことができます。あなたは自分のことをよく分かっていませんか？そして、あなたが神様から預かっている能力をあなたが幸せになるように使いこなしていますか？私が考える幸せとは「自分の価値を知って、用いて生きること」です。聖書にタラントの話が出てきます。(マタ25：14-30)このタラントとは日本円で約1億円を指し、私たちがよく知っている言葉でタレント＝才能という言葉がありますが、これもタラントからきた言葉です。このタラントを用いるか用いないかの違いはありますが、聖書にあるように、神様は私たち一人ひとりを素晴らしく創造されました。つまり一人ひとりに神様は能力を与えてくださっているのです。ではどうすれば用いることができるようになるのでしょうか。私たちは自らの価値を知ることができれば人と比較しなくなり、隣人の存在も認めることができるようになります。そして自分の価値を知って自分を用いるなら、人から必要とされていることが分かります。つまり、幸せとは誰かに必要とされることです。これがエネルギーになるのです。世の中の人は疲れても責任を持って生きることが幸せとなるかもしれませんが、クリスチャンはそこに喜びを見出すことができます。私たちが神様の前にいつもベストでありたいです。ですから今日は、神様があなたをどのように創造されたのかをしっかりと理解して、自分の価値を分かってベストに用いるだけにどうしたらよいかを学びましょう。

イザ43：4、ヘブ12：1～3に神様がどれだけ私たちのことを愛されているかが記されています。イエス様は私たちが元気を失って疲れ果ててしまわないために十字架にかかられました。私たちが向くべきところから外れてしまうと、疲れてしまいます。ですから、私たちは自分の人生だからと自分勝手に生きるのではなく、神様から預かったあなたの人生を用いていかななくてはなりません。私たちが2タラント、5タラントを主人から預かった人たちと同じです。任せてくれた主人のために預かったものを用いた彼らのように、私たちもどこにあって預けられた人生を、責任を持って歩んでいきましょう。その責任を果たすことが私たちの存在価値を知ることとなり幸せへとつながります。ですから日本人は社会的責任(世間体)が大事であるという育てられますが、それよりもっと大事な責任、家族や大事に思う周りの人への責任と、なによりも大事な自分に対する責任をもって歩みましょう。一人ひとり神様から預かっているものは違います。ですから人と比較せず、神様があなたに任せたものを自分のものとせず用いることが大切なのです。

そのために、しなければいけないこと。 **1 タラントを生かす責任がある。**(詩篇1：1、詩32：1,2、詩41：1,2) 神様は少数派でも正しい道を歩む人に幸いを与えてくださいます。ですからあなたの賜物・価値を知ってそれを素直に用いて生きましょう。そうすれば誰かを助け、誰かに助けられるなかに幸せを見出すことができるようになります。 **2 あなたののためにするものを捨てる**(ヘブル12：1、1ペテ3：2-4) 恐れや不安に襲われたとき、あなたはどんな態度をとっていますか？聖書にある私たちのうちにまとわりつく罪(自己中心な思い)は恥からでてきます。自分が人にどう見られているか、言葉や態度が気になる人はその傾向があるといえます。しかしもし、あなたに対し悪態をつく人がいたとしても、私たちがそれを気にしてはいけません。ノアが山の上に箱舟をつくったとき、周りの多くの人がノアを馬鹿にしたことでしょう。しかしノアは神様から言われたことに耳を傾け熱心に果たしました。その結果ノアと家族、動物たちは生き残ることができました。それだけでなく聖書は、自分に悪くする人に祝福を祈ることようにと伝えています。神様がするように言われたことに対し、人がどのように言おうと私たちには関係ないのです。反対に気をつけなければいけないのは、その姿をみて私たちが人を馬鹿にしたり、さばいたりしないということです。愛と希望の言葉を語る口を持って、外見を着飾らずとも心の内側のきれいさを保っていきましょう。 **3 満ち満ちた主の御身丈へ～キリストにつながる**

私たちがキリストに学ばなければいけません。学ぶとは、知識や技術を習得することのほかに、真似をすることとあります。もしあなたのなかにキリストの姿が思い浮かんだなら、すごいなで終わらさず、その姿を真似してみましょう。それだけであなたの人生変わります。なぜならイエス様の姿から学んだ人は弟子たちのように命がけて果たす人になるからです。教会は宗教をするところではなく一人ひとりが感じたイエス様の姿を学ぶところです。私たちが愛し、私たちの罪や恥をもって十字架の道を歩まれたイエス様の姿を試しにでもいいので実践してみましょう。そうすれば本当の幸せが見出せるようになります。

今日は幸せとはなにかを通して神様から頂きたいのちをどう生かしていいたらよいかを学びました。この地で幸せであること、喜んで生きることは私たちの責任です。そしてあなたの姿から多くの人々が幸せ学ぶことができるように、あなたが預かっているものを用いていくこともあなたの責任です。用いれば必ず実を結びます。良く用いるか悪く用いるかはあなた次第です。良く用いたいなら今までの人生をここで捨てて、あなたが受けたイエス様の姿を実践し、幸せな新しい人生を歩みましょう。あなたにとってイエス様はどんな方ですか？(要約者：金光 瞳)